

2020 ネパールにおける新型コロナ共生プロジェクト 支援報告書（その2）

1. 活動グループと活動概要

主催：バスデフ・プラサド・ジョシ記念基金

(Basudev Prasad Joshi Memorial Foundation)

PIN NEPAL (People in Need Nepal) (NGO)

背景：ロックアウトによる日雇い労働者などの困窮者・困窮家族の発生

内容：基礎食品、布、薬、等の配布と、

献血（ネパール赤十字社と協力）や健康診断の支援

地域：バクタプル、パタン、カトマンズ、その他の村

目的：新型コロナウイルス感染者支援活動

2. 活動詳細

【活動期間】

- 2020年9月11日～9月17日

【対象地域】

- メラムキ市、シンドウパルチョコク、ティミ、バクタプル、パタン、カトマンズ、ヘランブ、パールン
- そしていくつかの遠隔地や村

【受益者人数】

- 約4,000～4,700人

【援助物資】

- 食品、米、ダル、レンズ豆、砂糖、塩、油、チウラ、ビスケット、インスタントラーメン、衣類、マスク、石鹼、タオル、バケツ、水差し、ベッドシート、PPE(個人用保護具)、トイレットペーパー、ジュース(献血者に)、消毒液など



【献血活動支援】

- カトマンズ、バクタプル、パタン、ティミ、シンドウパルチョコク、チャウタラ、パール、メラムキなど、多くの村で
- 血漿治療用採血（COVID-19から回復した人の抗体を含む血液の採取）も

【感染者対応】

- ロックダウン中のカトマンズで治療手配（6人）

【その他】

- 車椅子配布：4台

【協力団体】

- 社会献血グループ(献血)
- ウパカルセワ・ネパール(Upakalsewa Nepal : 食糧)
- タラマンダル女性の力 (Taramandal Women's Power)
- 地方区政府
- 赤十字シンドゥパルチョコ支援と援助者
- マダヤプルティミ (Madayapurtimi) ・ジャーナリストチーム
- ネパール赤十字社
- PIN NEPAL (NGO)
- PIN JAPAN (NPO)
- バスデフ・プラサド・ジョシ記念基金
 - リーダ: ラックスマン・ジョシ
 - メンバ:
バブ・カジ・シュレスタ、サチン・シュレスタ、
ラトナ・シュレスタ、ラジェンドラ・タルチャバデル、
アニル・トゥラダール、ジョン・ジョシ、ソム・タマン、
ビマラ・ジョシ、ラム・シッハウ、ユバ・タパ、ガリマ・ジョシ、
ビシュワ・マガー、バサンタ・カンディワル、スレンドラ・シン、
サティヤ・マナド、クンティ・ポラレ、アニタ・マナダール 他

【翻訳】

- ジョン・ジョシ (John Joshi) : 英訳
- PIN JAPAN : 和訳